



今日が楽しく
明日が待ち遠しくなる学校

- かんがえる子（知）
- おもいやりのある子（徳）
- たくましい子（体）

No. 13
滝沢市立一本木小学校
令和6年 3月13日
文責 熊谷 明宏

令和5年度、ありがとうございました

3月11日（月）と12日（火）は1年から5年までの学年で期末面談を行い、各担任から子供たち一人一人の1年間の成長を伝えさせていただきました。明日、14日（木）は修了式、そして15日（金）は卒業証書授与式があります。令和5年度は残り2日となりました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の法律上の分類が5類感染症に変更され、活動制限をあまり気にすることなくやりたいことに積極的に取り組むことができました。子供たちのマスクを取った素敵な笑顔がたくさん見られ、一本木ならではの教育活動も再構築できました。令和6年度は、今年度構築した活動に新たに肉付けをしてさらに充実できるような学校を目指して参りたいと思います。

保護者の皆様の学校に対するご理解とご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。そして来年度も変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げます。

児童総会・新執行部任命式

2月16日（金）、児童総会が行われました。ここでは、今年度の委員会活動の反省と来年度のよりよい活動につなげるための話し合いを行いました。児童総会には3年生が初めて参加し、3～6年生の子供たちが、活発



引継ぎ

に質問や意見を述べました。これまで、6年生が中心になって活動を進めてきたわけですが、これからは5年生がリーダーとなり、新しい児童会の歩みを進めていくことになります。

そして、2月20日（火）は児童朝会の中で新執行部任命式を行いました。任命式の後は、各委員会の新委員長に旧委員長からの引継ぎが行われました。下に新執行部と各委員会の委員長を紹介します。



新執行部

【児童会新執行部】

会長	白 砂	快 さん
副会長	井 上	夏 実 さん
	海老澤	杏 さん
議長	横 田	智 也 さん
	三 浦	彩 愛 さん
書記	藤 原	佳 奈 さん
	角 掛	ゆうり さん

【新委員長】

放送委員長	米 田	想 奈 さん
体育・安全委員長	角 掛	琉 唯 さん
図書委員長	角 掛	芽衣紗 さん
保健・給食委員長	飯 岡	月 煌 さん
JRC委員長	吉 田	優 衣 さん

今年度最後の授業参観

2月22日（木）は今年度最後の授業参観日でした。それぞれの学年のまとめの様子を保護者の皆様に参観いただきました。

今年度は全校の子供たちに対して、集会のときなどに「元気よく返事をする事」や「礼を合わせる事」を心掛けるように話してきましたが、普段の学習の中での積み上げによってそれらがしっかりとできるようになり、学校全体としての高まりが見られています。子供たちの成長を心から嬉しく感じています。

また、授業後の懇談会にも多数ご参加いただきました。ありがとうございました。

ダスキン キレイのタネまき教室

2月28日(水)、1・2・5年生を対象に掃除用具の正しい使い方を習得したり清掃に対する意欲を高めたりすることを目的として、株式会社ダスキン盛岡の 菅原 聡樹 様にご来校いただき、出前授業をしていただきました。この出前授業は2年ぶりの実施となります。



毎日の学校生活で行っている掃除の意味について改めて次の3つのことを教えていただきました。

気持ちよくすごすため…快適 物を長く使うため…長持ち 元気に過ごすため…健康

これらのお話から今後の掃除をすることへの意識が変わってくると感じました。また、ぞうきんの絞り方や、机の拭き方、ほうきの使い方など、掃除の仕方をプロの方から教えていただいたので、意識を高めるだけでなく、方法についてもより質の高い掃除を目指していきます。

感謝の会・6年生を送る会

3月1日(金)、児童会が主催する「感謝の会」と「6年生を送る会」を行いました。「感謝の会」では、スクールガードの方や図書ボランティアの方々をお呼びして、5、6年生が書いたお手紙を渡し、1年間の感謝の気持ちを表しました。



6年生の発表



そして、「感謝の会」の後は、「6年生を送る会」を行いました。感謝の会に出席された方々にも6年生を送る会をご覧いただきました。この会のために各学年で招待状やプレゼントの作成、入口装飾などを分担して全校児童で準備を進めてきました。会の中では、6年生との1年間の思い出を伝えたり、6年生にクイズを出したり、一緒になわとび対決をしたり、歌のプレゼントをしたりとこれまでの感謝の気持ちがしっかりと伝わる心温まる会となりました。

3. 11集会

東日本大震災が起きた3月11日は、毎年全校で集会を行っています。今の小学生は全員が震災以後に生まれた子供たちです。震災を直接体験していない子供たちではありますが、東日本大震災で学んだ教訓を学校教育に生かし、未来に語り継いでいくことは、岩手だからこそできる教育、やるべき教育ととらえています。



今年度は校長が当時勤務していた久慈市で起こった被災から復興までの様子を紹介し、「当たり前で暮らすことができるありがたさを考える日にしてほしい」ことを伝えました。集会の最後には、子供たちと職員全員で黙とうをささげました。通常の朝会に比べ、長い時間となりましたが、最後まで真剣なまなざしで話を聞いていた子供たちの姿が素晴らしかったです。

入賞おめでとう！

第52回岩手県書写書道作品コンクール

【硬筆の部】

推薦 1年 遠藤 楓菜 さん
6年 岩澤 健一郎 さん

【毛筆の部】

推薦 6年 櫻 礼唯さん

全国児童画コンクール

入選 3年 井上 夏樹 さん
ベルジョイス賞 1年 田村 日々軌 さん
5年 大森 創護 さん

税に関する絵はがきコンクール

入選 6年 櫻 礼唯 さん